

柏崎刈羽原子力発電所6号及び7号炉 指摘事項に対する回答一覧表  
 (「重大事故と地震の荷重の組合せ」関連)

区分	No.	NRA 番号	審査日	指摘事項	回答			
					回答状況	回答日	回答資料	回答
会合	1		2016/2/25	組合せの目安となるSAの継続時間に見込まれている保守性について説明すること	今回回答	2016/8/30	資料3-2	荷重組合せの検討手順において、保守性を見込んだSA施設共通のスクリーニング基準を設定することで保守性を確保していることをご説明させていただきます。
会合	2		2016/2/25	格納容器内の温度・圧力を速やかに低減することの可否を含め、運転状態V(LL)について改めて説明すること	今回回答	2016/8/30	資料3-2	当社ABWRプラントの格納容器の特性上、格納容器内の温度を低下させることは難しいが、実測値に基づく海水温度条件を設定すると、温度を通常運転温度に低下させることは可能と考えます。 しかしながら、SA時のサブプレッション・プール水位上昇等を考慮し、荷重組合せに運転状態V(LL)の考え方を適用することの妥当性についてご説明させていただきます。
会合	3		2016/2/25	荷重の組合せにおけるシナリオの選定理由について、発生確率と影響度合いを考慮した上で、妥当性を説明すること	今回回答	2016/8/30	資料3-2	RPV破損シナリオの発生確率が10 <sup>-8</sup> 年未満となること等を考慮し、格納容器過圧・過温破損シナリオを荷重組合せのシナリオとして選定していることをご説明させていただきます。